## **究研學哲**

册四第 卷九十二第

號七十三百三第

行發日一月四年九十和昭

就へ てのゲ   <b>省</b> ル		美的自	支 那 に
現货の論理 <sup>第二部</sup> 省察(完) ア哲學の根本問題に		前第―- 宗教藝術の美的自得性自律性の藝術史的展開・・・	に於ける文藝復興論と經學
	-	日 得 生 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	經學重
田		∭ √	海
泰		長	俊
治		成 .	郎

內部學文學大國帝都京 會 學 哲 都 京

**鄭九條** 第二條 以テ目的トス 前納スペキモノトス 得、且ツ雜誌『哲學研究』ソ配布ヲ受ク 共國體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得 ルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、 及委員會二於テ推薦シタル者ヲ以テ之二充ツ 會員ハ本會ノ諸種ノ愈合ニ出席ス 會員ハ會費トシテ年五圓、前後二期ニ分チテ 京 本會ノ趣旨二赞同スル者ハ何人ニテモ會員タ 書配(一名)委員會ニ於テ獨託ス 委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官 本會へ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ 本會ハ殷義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ 本會ヲ京都哲學會ト稱ス 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ武ク 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學部内ニ置ク 毎月一囘哲學研究ヲ發行ス 毎年公開諧演會ヲ開ク 毎月一囘研究會ヲ開 都 哲 學 會 規 則 其ノ他剛體ハ コトヲ 京 都 員 哲 學 交學博士 會 文學 **艾學博士 交學博士 文學傳士** 文學博士 文 文學博士 Ŋ. 學 科 舒 3.i 學 氎 役 <del>.t</del>  $\pm$ ±  $\pm$ ±Ł-土 員 皍 澤 本 24 田 甌 木 高 in i 植 上 臼 14 坂 癋 薲 克義質 鮗 俊 īΕ 貞 已英一治元夫郎衞男顯敬藏

行を人倫行に吸收する。其處に現狀維持に滿足するへー 哲學研究 第三百三十七號

五六

落と哲學の成立、及び時間論等に就いて種々問題を論ず ゲルの樂天觀があると言へよう。 尙へーゲルに關して國家と世界史との聯關、民族の沒

の考察を終る事とする。(完)

べきであるが、今迄の敍述に於て根本問題に關する一應

報

彙

圖

寄

贈

雜 誌

寄

ベルグソン アリストテレスの場所論

定東 價京

一圓六十錢

五十嵐達六郎譯

社會學徒、文化、一 贈

法學、哲學雜誌、囘敎週報、一橋論叢、經濟論叢、東洋

號

武

內

義

範

前

家

國

ૃ

世

ーーつの断章ー

木 村

素 衞

目 次 教の概念(<sup>薬前)</sup>

就ての省祭(承前)

政治、丁酉倫理講演集、思想、全人、哲學雜誌、法華、

四月號

史研究(八ノ五・六)

三月號 二月號

法學、宗教研究(六ノ一)、同教週報、同教園、一橋論談

ー現質の論理 第二部ー

Ł.

田

泰

治

宛ニ御拂込被下度候 本誌の御註文はずべ キニ付直ニ御拂込下サレ度候 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章押捺致ス 弘文堂書房內京都哲學會へ御通知被下度候 會費个「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」 會員にあらざる購讀者の御注交及び廣告に關する 質員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務 ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候 不能 / 編輯 二闘スル 通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌 京都哲學會宛二規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納 八人會希望者公京都市田中西浦町弘文堂書房 部門京都哲學 定 行所、 **主册(前金)** 六册(前金) 册 數 金二厘半錢 金四十五錢 何 郵 稅 錢